

対象	中学校 2 学年以上
教科	技術家庭科 (家庭分野)
該当 单元	中学 2 年 「食生活と自立」 ・ 地域食材と 食文化
教科書	開隆堂等
掲載日	2017. 9. 30. 朝刊 11 版東濃総合面

# 地域食材でスイーツ

## 中津川、恵那 4高校の生徒開発

地域食材をPRしようとして中津川、恵那両市の四高校の生徒がパフェ「そば香るハニーぱるふえ」を新開発した。十月七日から恵那市の中央道上り線・恵那峡サービスエリア(SA)の「恵那ミルクファーム」で販売するのを前に二十九日、同所で生徒が発表した。

四校は中津商業、中津工業、坂下、恵那農業。坂下の生徒が地元産のそば粉を使って作ったシフォンケーキの上に、恵那農の生徒が採取した地元産蜂蜜ソースや、ソフトクリーム、そば粉クッキーなどが載っている。

昨年七月から取り組みだ。坂下がレシピ



新商品のパフェをPRする4高校の生徒たち＝恵那市の中央道上り線・恵那峡サービスエリアで

を、恵那農が製造を担当。中津商はPRポスターを、中津工は購入者に抽選で配る四校の校章入りコースターなどを作った。坂下三年の家高結さん(こ)は「そばが香るのように工夫した」と話し、恵那農三年の柘植彩さん(こ)は「蜂蜜の風味とそばの香りを二段階で楽しめる」と話した。

来月二十九日までの土、日曜日に一日五十個を限定販売。一個税込み三百八十円。各校で扱う前売りチケットは一個分三百五十円。(星野恵一)

問1：4つの高校が新しく開発したスイーツの商品名は何でしょう。

( )

問2：開発した商品を販売するまでの各校の仕事分担をまとめましょう。

中津商業高校	
中津工業高校	
坂下高校	
恵那農業高校	

問3：高校生が語った商品のアピールポイントはどんなことですか。

( )  
( )

発展：高校生が地域食材を使ってオリジナルのスイーツを開発し販売する良さについて仲間と話し合いましょう。

自分の考え：

仲間の考え：

## 【活用にあたって】

教育現場における「食育」の重要性に注目が集まる中、給食への異物混入事件や給食の味と残菜問題などもニュースになる昨今です。一方では「地産地消」の良さが全国に広まり、「ご当地グルメ」が人気を集め、街おこしにも活用されていることをよく目にし、耳にするようになっていきます。

同じ地域の4校が協力して地域食材を使ったスイーツを開発、製造して販売するという記事は、これまでにはない新しい試みとして子どもたちの興味・関心にもヒットするものだと思います。地元の「食文化」を知る、守る、広めるというねらいにも迫ることができることでしょう。

### 解答例

問1：そば香るハニーぱるふえ

問2：中津商業(PRポスター作成) ・ 中津工業(購入者に抽選で配る4校の校章入りコースター製作)  
坂下(レシピ考案) ・ 恵那農業(商品製造)

問3：(そばが香るように工夫したこと)

(蜂蜜の風味とそばの香りを二段階で楽しめること)

発展：「地産地消」や「地域の活性化」といった視点からの意見や、「高校生による経済活動」に対する意見など、幅広い角度から意見交流できるとよいですね。